

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	13	課題区分	B	令和8年3月31日	
横断的な課題	地域ブランドを活かしたゆたかな暮らしと移住への取組					松本地域振興局	
地域重点政策	地域ブランドを活かしたゆたかな暮らしと移住への取組					松本地域振興局	
実施機関	松本地域振興局			担当課	所属	企画振興課	
事業名	地域おこし協力隊員確保・活動・定着支援事業			電話	0263-40-1902		
				E-mail	matsuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	しあわせ信州創造プラン3.0長野地域計画では、地域おこし協力隊などの地域社会の担い手の確保や育成の支援に取り組むこととしており、隊員の活動の円滑化や退任後の地域への定着・定住を目指す。					
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・松本地域では、令和7年4月1日時点の地域おこし協力隊員数が8市村32名、令和6年度末任期終了者の定着率は88%となっている。 ・長野県総合5か年計画では、地域おこし協力隊についての達成目標が、2027年度に隊員数580人、任期終了後の定着率85%と設定されているため、更にと組を促進する必要がある。 ・地域おこし協力隊の制度や活動を熟知する有識者の話を聞いたり、隊員同士が交流したりする機会が必要との意見が出されているほか、隊員は任期終了後も地域へ定着し、活性化をしたいとの思いが強いため、起業、就労等に関心が高く協力隊OBの意見や体験談を聞きたいとの要望が出されている。 ・隊員は他地域の協力隊員の活動や任期終了後についての関心が高いため、活動支援として行う研修会等では地域に根付き活動している協力隊OB・OGを起用し、将来的に広域的な連携に繋がる企画を実施する必要がある。 					
	内容 (変更後の内容)	<p>活動中の協力隊員同士の圏域を超えた「つながりの場」づくりとして、松本地域・北アルプス地域・長野地域の3局合同による隊員向け研修会を開催する。</p> <p>研修会の内容</p> <p>①多様な活動を個別で展開している隊員同士が、活動の中で抱える課題や悩みについて話し合い、隊員同士のつながりづくりの場となる意見交換会</p> <p>②長野地域の協力隊OBによる任期中の活動から卒隊に向けての体験談や任期終了後に起業したアウトドアサポート事業の体験</p> <p>【概要】</p> <p>日時:令和8年2月18日(水) 10:00~15:30</p> <p>場所:スノーハープ(白馬村)</p> <p>参加者:松本・北アルプス・長野地域管内の地域おこし協力隊員</p> <p>内容:①意見交換会 課題や悩みについて意見交換 ファシリテーター8名(松本地域協力隊OB・OG3名、北アルプス地域協力隊OB・OG3名、長野地域協力隊OB・OG2名)※再配当後選定予定</p> <p>②協力隊としての体験談及びアウトドア体験 梨本 利信(なしもと としのぶ) Bush Man Works (小川村地域おこし協力隊OB)</p>					
事業期間	令和7年12月			～	令和8年2月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考			
	地域おこし協力隊活動・定着支援事業	意見交換会	50,000	【ファシリテーター謝金】 3,200円×4時間×4人=51,200円 ※不足分1,200円は地域振興課予算を活用			
	合計		50,000				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	研修会参加人数(3局の隊員数106人の5割以上)		53人	50人	○ 達成		
					○ 一部達成		
					● 未達成		
事業実績・成果	<p>令和8年2月18日(水)に研修会を開催し、50名が参加した。成果指標の目標値に挙げていた53名には届かなかったものの、事後に行った参加者向けアンケートで、満足度の確認を行ったところ回答があったうちの86%の方に「満足した」「やや満足した」との回答をいただく事ができた。</p> <p>また、研修会にあたっての意見(感想)として「様々な市町村(他地域)の協力隊の方と意見交換をすることができ、大変貴重な機会となった」との意見をいただく事ができたことから三局合同での研修会の満足度は高かったと感じる。</p> <p>参加者が成果指標の目標値を下回った要因としては「参加者募集の周知に時間が取れなかったこと」「寒い時期の開催になってしまったこと」が要因と考えられるため改善の余地があるように思える。</p>						
今後の方向性	地域社会の担い手の確保には地域おこし協力隊員の定着・定住が必要不可欠であることから、今後とも在職中及び任期終了後の活動に関する有益な情報を提供するとともに、隊員同士が気軽に語り合う交流の機会を創出することにより、地域おこし協力隊の活性化・定着・定住等を図って参りたい。						